

令和5年度高岡商工会議所事業計画・予算(案)の基本方針

I 基本的な考え方

5月には新型コロナウイルスの感染症法上の分類が、季節性インフルエンザと同等の「5類」に移行されることから、コロナと共生し経済活動の正常化に向けた経営者支援、地域づくりに取り組む。

特に、インボイス制度の導入やコロナ禍での借入への資金繰り相談、そしてデジタル化やカーボンニュートラルに取り組む事業所や海外への販路開拓等、挑戦する事業所への伴走型経営支援を強化する。

また、地域の公共交通ネットワークの意見をまとめるとともに北陸新幹線敦賀駅開業を見据えた事業にも取り組んでいく。

II 予算の概要

(1) 予算規模

令和5年度の予算規模は次の通りである。

区分	令和4年度	令和5年度	増減額	増減率
一般会計	164,661千円	176,830千円	12,169千円	7.3%
相談所会計	100,308千円	96,676千円	▲3,632千円	▲3.6%
共済会計	47,927千円	46,472千円	▲1,455千円	▲3.0%
商工ビル会計	129,387千円	132,369千円	2,982千円	2.3%
小計	442,283千円	449,001千円	6,718千円	1.5%
特定退職金会計	587,894千円	553,865千円	▲34,029千円	▲5.7%
合計	1,030,177千円	1,006,212千円	▲23,965千円	▲2.3%

(2) 予算構成比

令和5年度の各項目の予算構成は次の通りである。

収入項目	金額	構成比	支出項目	金額	構成比
会費	97,855千円	9.7%	事業費	94,651千円	9.4%
補助金・委託費	95,318千円	9.5%	人件費	139,096千円	13.8%
事業収入	14,509千円	1.4%	一般管理費	24,063千円	2.3%
共済収入	35,753千円	3.6%	ビル管理費	105,329千円	10.5%
ビル収入	124,726千円	12.4%	公租公課	12,681千円	1.3%
雑収入	7,232千円	0.7%	特定退職金保険料	542,000千円	53.9%
特定退職金収入	552,100千円	54.8%	繰出金	28,096千円	2.8%
繰入金	28,096千円	2.8%	積立金	30,000千円	3.0%
積立金取崩	0千円	0%	予備費	30,296千円	3.0%
繰越金	50,623千円	5.1%	合計	1,006,212千円	100.0%
合計	1,006,212千円	100.0%			

令和5年度事業計画(案)

地域振興プラン・戦略1「交流人口の拡大による地域経済の活性化」

※注:◎重点施策 ◆2024 までの優先施策 N 新規事業、予算の()内は前年度予算額

推進方法1-1「ニューノーマルにおける新しい観光スタイルの推進」

1. 広域観光の推進 ※テーマ:広域観光の推進(観光交流委員会)

(1)飛越能の玄関として、新高岡駅を拠点とする広域観光連携の推進

ア. 新幹線まちづくり推進市民会議による利用促進事業<予算10万円(10万円)>※総事業費500万円
新高岡駅の利用促進を図るため、地元をめぐる旅行商品の造成を中心に、誘客の支援事業を展開する。

イ. 北陸新幹線沿線都市物産展事業<予算15万円(17万円)>

長野市での物産展への出店を行う。

ウ. たかおかいっぴんセレクション事業<予算30万円(180万円)>

令和4年度に制作した高岡土産品カタログを活用し、その消費動向分析と販売促進を行う。

(2)県西部地域の歴史文化ストーリーの活用と発信

N・たかおか検定(仮称)ワーキングチームの設置<予算20万円>

高岡の歴史・文化・産業などを学び、様々な魅力を再発見することで、故郷への関心・愛着・誇り(シビックプライド)を育むことを目的とする「たかおか検定」(仮称)の実施に向けて検討を行う。

◆(3)地元の人々が地元の魅力を再発見するマイクロツーリズムを提案

ア. 高岡の文化遺産めぐり<予算10万円(10万円)>

高岡の文化遺産(瑞龍寺、勝興寺、山町筋、金屋町、吉久、高岡大仏、高岡城跡ほか)を再認識するツアーを実施する。※近世高岡の文化遺産を愛する会と共同

イ. 県西部観光モデルコースの提案・発信<予算15万円(15万円)>※富山観光発信会との連携事業

富山観光発信会と連携し、県西部の観光施設等めぐるモデルコースを作成し、情報発信を行う。

◎2. デジタル化に対応した観光対策の推進

(1)観光需要回復を見据え、インバウンド向け情報発信の充実

・免税店設置支援情報発信事業<予算10万円(20万円)>

外国人観光客向けに多言語による飲食店やホテル、観光施設等をインターネットで紹介するHP「OIDEYO TAKAOKA(おいでよ高岡)」を運営、観光情報の発信を行う。

◆(2)県西部6市の観光情報を発信する共通プラットフォームの再構築

高岡市をはじめ県西部の観光協会と連携し、インターネットによる総合的な地域観光情報の発信を行う。

3. プロモーション活動の強化

◆(1)大都市圏等旅行会社へのツアー商品(個人旅行向け)の提案

ア. 首都圏等出向宣伝事業<予算15万円(15万円)>※富山観光発信会との連携事業

富山観光発信会や市観光協会等と連携し、首都圏をはじめ大都市圏の旅行会社に出向宣伝を行う。

イ. 旅行会社招聘事業<予算13万円(43万円)>

県外旅行会社を招聘し、地域の強みである「ものづくり産業」と「歴史文化遺産」を組み合わせたモニターツアーを実施。富裕層をターゲットにしている旅行者者に対し、旅行商品造成による旅行者の送り込みを要請する。

(2)県西部 DMO との連携

・富山県西部 DMO と連携会議を開催し、地域の観光振興を図る事業や PR 広報を行う。

推進方法1-2「藤子・F・不二雄先生のふるさとづくり」

1. 個性あるキラコンテンツづくりと市民意識の醸成 ※テーマ:藤子・F・不二雄の故郷高岡のまちづくり(観光交流委員会)

(1)藤子・F・不二雄先生のふるさとづくり

(2)藤子・F・不二雄先生ゆかりの地の発信

・藤子・F・不二雄先生ゆかりの地巡りスタンプラリー事業<予算150万円(125万円)>

高岡出身の藤子・F・不二雄先生ゆかりの地を巡るスタンプラリー事業を行う。併せて先生にまつわる謎解きや宝探しゲーム等の開催で市内回遊の機会を創出する。

(3)ドラえもんトラム、モニュメント、電停のラッピング等の継続

高岡市当局と連携し、事業の継続を図る。

推進方法1-3「歴史文化遺産の活用・産業体験観光による産業の活性化」

◎1. 歴史文化遺産の活用と地域産業の活性化

N(1)国宝勝興寺周辺の活性化

ア. 周辺整備に向けた協力・支援

富山県及び高岡市に対し、駐車場等の周辺整備や交通網の整備及びその発信について協力・支援していく。

イ. 勝興寺周辺活性化事業<予算50万円(30万円)>

勝興寺の国宝指定を契機に、地域の商工業者と連携し、地域活性化事業を行う。

◆(2)歴史文化資源のモデルコース化

N・富山県西部地域の産業偉人(出身者・ゆかりのある人物)の調査・活用事業

富山県西部地域は、世界に誇れる「ふるさとの産業偉人」を輩出し、地域の財産となっている。富山県西部産業開発協議会(会長 塩谷雄一)が主体となり、こうした先人たちの偉業と生き方を知ると共に、偉人資産の活用(ツアー化等)の可能性を探る。

(3)高岡古城公園の魅力向上策の推進

国史跡(高岡城跡)本来の価値を維持するためにも、桜の木の植え替えや樹木の伐採、害鳥被害対策の強化などの公園整備について、市「高岡古城公園樹木管理行動計画」等の取り組みを中心に支援していく。 ※テーマ:古城公園の活用、桜の植替え、樹木の伐採(企業経営改革委員会)

(4)山町筋、金屋町、吉久(国重要伝統的建造物群保存地区)における出店支援等、観光まちづくりの推進

当所の伴走型支援及び高岡市の空き家対策事業等を活用して歴史的な町並みへの飲食サービス店舗の出店を促進し、観光客の利便性の向上による賑わい創出を図る。

2. 産業体験観光の推進

(1)産業観光参画企業の拡大

・産業観光推進事業<予算16万円(16万円)>

当所ホームページ内の「高岡産業観光ガイド」を更新、運営による情報発信及び「富山県産業観光図鑑」の改訂版の発行、PRを行う。

(2)旅行会社等と連携した旅行商品化の推進

ア. 旅行会社招聘事業<予算13万円(43万円)>※再掲事業

イ. 高岡食のブランド化事業<予算20万円(20万円)>※高岡市補助事業(総事業費120万円)

新たに「加賀前田御膳」をコンセプトとした食の開発を行い、高岡ブランドの確立を目指すため全国へPRしていく。

推進方法1-4「MICE招聘機能の充実」

1. MICE招聘活動の支援

- ・各種関連団体の全国大会・スポーツ大会・修学旅行等の招聘活動の支援
高岡市及び高岡市観光協会と連携し、地元での開催に向けた誘致活動を支援していく。

N2. 高岡テクノドーム別館のオープンに向けた誘致活動 ※テーマ：高岡テクノドーム別館の早期完成と誘致活動（企業経営改革委員会）

- ◆・テクノドーム別館の2024年度中完成に向けた展示、コンベンション、イベント等の誘致
高岡市等と連携し、2024年春の北陸新幹線敦賀開業を最大限に活かすべく先行して誘致活動を推進する。

地域振興プラン・戦略2「DX推進を柱とする企業競争力の強化」

推進方法2-1「DX推進による経営力の強化」

◎1. 企業特性に応じたDX推進サポートの強化

- ◆(1)デジタル化推進による生産性向上支援
- ◆(2)小規模事業者のDX支援を強化

ア. デジタル化・省エネ推進支援事業<予算70万円(100万円)>

会員事業所のデジタル化の推進と合わせて省エネ支援のため、セミナーの開催や相談会の開催、専門家の派遣による補助金申請支援等、伴走型の身の丈デジタル支援、身の丈カーボンニュートラル支援を行う。

イ. 記帳指導対策事業<予算9万円(20万円)>

小規模事業者向け日商の会計ソフト「マネーフォワードクラウド」の導入を促進し、会員事業所の経理事務や税務申告作業の業務効率化を図る。

(3)各種支援策情報の発信、支援機関との連携サポート

・経営支援情報メールマガジンの配信<予算5万円(5万円)>

事前登録者に経営に関するお役立ち情報を月2回定期配信する。

推進方法2-2「伴走型支援による小規模事業者の経営強化」

◎1. 創業・事業承継支援の強化

(1)支援ネットワークを活用し、創業・事業承継に関して事業計画策定等の実施

ア. 創業者支援事業<予算385万円(350万円)>※高岡市補助事業

創業者のワークスペースを備えた「たかおか創業サポート室」を設置し、創業者への支援を行う。
また、高岡市が御旅屋セリオ内に開設する「高岡まちなかスタートアップ支援施設」とも連携を図る。

イ. 高岡スタートアップ創業塾開催事業<予算50万円(50万円)>

創業予定者及び創業5年未満の創業者等を対象とした「高岡スタートアップ創業塾」（全5回）を開催する。（青年部との共同事業）

ウ. 事業承継相談支援事業<予算20万円(20万円)>

高岡市、富山県事業承継・引継ぎ支援センターや北陸税理士会高岡支部と連携し、事業承継案件の開拓を行い、定期的な相談会の開催や計画策定支援を強化する。

2. ニューノーマルに対応したビジネスモデルの変革に挑戦する企業への支援強化

(1)業態転換等に取り組む事業者の新たな需要開拓への支援

ア. 経営発達支援事業(伴走型小規模事業者支援推進事業)<予算200万円(733万円)>※国補助事業

国の認定を受けた経営発達支援計画に基づき、小規模事業者を対象とした経営支援を実施する。

- ・アジア向け越境 EC テストマーケティングの実施

N イ. 販路開拓支援事業<予算410万円(35万円)>※国補助事業(一部)

- ・IEAT(台湾)との経済交流及び WEB 商談会による販路開拓
- ・貿易基礎講座の開催 ・北陸三県ビジネストラフトへの参加 ・ネット販促「ビジネスモール」への参加
- ・プレスリリースセミナーの開催 ・販路開拓に特化した情報発信事業の運営

3. 新事業展開・業務改善に取り組む企業への支援強化

(1) 中小企業施策(経営革新等)・各種補助金支援、専門家派遣等による伴走型支援

ア. 制度改正等の課題解決環境整備事業<予算29万円(66万円)>※日商補助事業

働き方改革、民法、税制度の変更への円滑な対応に向けて専門家による個別相談を実施する。

イ. 新型コロナウイルス感染症対応等事業環境変化に対応するための経営相談体制強化事業<予算415万円(417万円)>※日商・県補助事業

新型コロナウイルス感染症の影響やインボイス対応等、事業環境が変化した中小企業・小規模事業者に対する相談会や各種補助金等の申請を支援するため、中小企業診断士等の専門家の配置や企業訪問の実施など、経営相談体制を強化する。

◆(2)BCP(事業継続力強化計画等)の策定支援

- ・事業継続力強化支援事業<予算5万円(25万円)>

事業計画策定に関する講習会(中小機構と共催)の開催や専門家派遣によるBCPの策定支援を実施する。

推進方法2-3「クリエイター連携による工芸都市高岡の産地継承」

1. クリエイターとの連携による情報共有・経営支援

(1) クリエイターと地元事業者との共同商品開発における販路開拓を図る等クリエイターとの連携による支援を継続実施

- ・クリエイター交流事業※工芸都市高岡クラフトコンペ事業内で実施

工芸都市高岡クラフトコンペ受賞者と地元事業者との交流会を開催し、新たなコラボ商品の開発につなげる。

(2) 事業者の海外進出、新分野開拓等情報共有及び伴走型の経営支援

- ・販路開拓支援事業<予算410万円(35万円)>※再掲事業

2. クラフトイベントの実施(支援)

(1) クラフトコンペ事業の継続

- ・工芸都市高岡クラフトコンペ事業<予算730万円(770万円)>※クリエイター交流事業含む

地元伝統産業の発展に資する持続可能なクラフトコンペ事業を目指すとともに、全国の優れたクラフトを高岡に糾合し、より発展的に「工芸都市高岡」のブランドを全国あるいは海外に発信する。

(2) 市内クラフトイベントの連携開催

- ・「高岡クラフト市場街」事業への支援と連携

市内のクラフトイベント(高岡クラフト市場街等)と連携し、賑わい創出に向けた事業の相乗効果を図る。

3. 伝統技術の継承・発信

(1) 文化財の再現、修復事業の海外販路開拓(行政機関等との連携)

- ・文化財修復拠点化事業<予算30万円(10万円)>

伝統工芸高岡銅器振興協同組合が実施する文化財修復拠点化事業5か年計画が令和4年度からスタートして

いる。令和5年度は市内外の文化財や銅像等の調査とデータベース化及びPR広報事業に対して支援する。

推進方法2-4「呉西圏域連携による次世代産業の創出」

1. 関連機関との連携による新産業の創出

(1)次世代産業等に関し、技術面や市場予測等の情報提供、地域企業の取組みを促進

・産学官等交流連携事業<予算30万円(30万円)>

カーボンニュートラル等をテーマとしたセミナーの開催や産学官が主催する各種講習会に参加し、地域企業が取り組む「カーボンニュートラル施策」を取りまとめ、会員企業に発信するとともにカーボンニュートラル等に取り組む先進地に視察を行う。

また、産学連携を促進するため、企業と大学等をつなぐ「産学連携クロスオーバーシステム」を導入し、産学マッチングの機会増大を図る。

2. 企業誘致・支援施設充実の推進

(1)地元企業の技術高度化に資する企業誘致

・空き工場等有効活用事業<予算255万円(275万円)>※高岡市補助事業

市内の空き工場や空き地などの事業用不動産情報をHPで紹介し、市内外の事業者の移転や増設、企業誘致の一助とする。PCに加え、新たにスマホ、タブレットにも対応した情報提供を行う。

◆(2)支援施設充実等の推進

・企業経営推進事業(支援施設誘致推進)<予算20万円(10万円)>

女性議員を主体とした検討会を設置し、若者・女性の定着を促進する高等教育機関等支援施設誘致に向けた事例、対象機関を整理し、高岡市等に要望活動を行う。

地域振興プラン・戦略3「働きやすい魅力ある都市づくりの推進」

推進方法3-1「働き方改革の推進及び健康経営の普及」

◎1. 新しい働き方の導入支援の強化

◆(1)テレワークやリモートワーク等、新しい働き方の実現に対し企業支援を強化

(2)経営者・従業員の意識改革の推進

・働き方改革推進事業<予算30万円(35万円)>

小規模事業者向けに新たな働き方を提案するセミナーや専門家による相談会の開催のほか、リモートワーク体験コーナーでデモ操作による実演と体験をしてもらう。また、働き方改革とデジタル化実践事例集を作成し新しい働き方を提案する。

2. 健康経営宣言の普及

(1)情報発信、セミナー開催等による健康経営の普及

・健康経営セミナーの開催<予算5万円(5万円)>

従業員の健康維持や増進など健康管理に取り組む健康企業宣言や国の健康経営優良法人認定制度の普及促進を図る。

3. 移住・UIJ ターンの強化

(1)「たかおか企業人材確保推進事業」の実施

◆(2)広域にわたる幅広い産業への就業機会と新居住空間の提供(行政機関等と連携)

・たかおか企業人材確保推進事業<予算565万円(565万円)>※高岡市補助事業

首都圏をはじめとした大都市圏を中心に移住や雇用などの地元回帰を促進する事業に取り組む。

- ①首都圏等における就職イベント及び移住フェアへの出展
- ②企業見学バスツアーの実施
- ③高校生キャリアサポートセミナーの開催
- ④HP、Web 広告等を活用した情報発信

推進方法3-2「都市交通機能の充実」

1. 都市交通機能の利便性向上 ※テーマ:城端線・氷見線の次世代交通システム・直通化及び万葉線との一体化の研究・推進(まちづくり委員会)

◆(1)城端線・氷見線の次世代交通システム・直通化及び万葉線との一体化の研究・推進

城端線・氷見線の存続・直通化を最優先とし、コストも勘案しながら新型車両への入れ替えを軸として検討を深め意見をとりまとめる。また、将来的な万葉線の乗り入れ等一体化の研究・推進に取り組む。

(2)万葉線やあいの風とやま鉄道、バス等を含む県内総合交通システムの調査・検討

・県西部地域の公共交通ネットワークの調査研究・提言<予算50万円(50万円)>

富山県西部産業開発協議会(会長 塩谷雄一)とも連携し、高齢化社会やカーボンニュートラルへの対応を踏まえ県西部の交通ネットワークのあり方(利便性)について各商工会議所・商工会と調査研究を進めるとともに、行政、JR 等への提言を行う。

2. 新高岡駅 飛躍的増加を目指す利用促進活動の実施

(1)北陸新幹線敦賀延伸に向け、新高岡駅の利用促進活動の実施や利便性向上とかがやき停車の働きかけ

ア. 新幹線まちづくり推進高岡市民会議による利用促進事業の実施

イ. 国・県・市及び JR への要望活動の継続的实施(かがやき定期便停車と臨時便継続、はくたか、つるぎの全便停車)

推進方法3-3「市街地再構築及び新高岡駅周辺のまちづくりの推進」

◎1. 中心市街地と新駅を核とする都市の魅力向上の推進 ※テーマ:赤レンガ建物利活用(地域産業活性化委員会)、中心市街地と新駅を核とする都市の魅力向上の推進(地域産業活性化委員会)、空き店舗・空き家対策とまちづくり(まちづくり委員会)、市庁舎の移転問題(総務・組織運営委員会)、博物館、体育館移転問題(総務・組織運営委員会)

(1)ローカル5G やスポーツ施設等先進的なハード・技術投資を活用する魅力向上

ア. まちづくり事業への支援<予算553万円(553万円)>

末広開発(株)まちづくり事業部が行う中心市街地の活性化事業に支援を行う。

- ①「山町ヴァレー」の運営
- ②観光まつり(獅子舞、七夕まつり、なべ祭りなど)
- ③わくわくメルヘンランド事業
- ④まちなか魅力アップ(ギャラリー・情報発信)事業
- ⑤レンタサイクル事業 等

イ. eスポーツ拠点運営支援事業<予算55万円(60万円)>

5Gの本格的な運用、普及が進行する中、eスポーツの市場が急成長産業として期待されている。御旅屋セリオ内にあるeスポーツの拠点施設であるeパークの運営支援を行う。

ウ. たかおかまちのゼミナール事業<予算110万円(80万円)>

商店主が市民向けに自店の商品やサービスの知識や使い方等のノウハウを伝授し、お店のファンづくりを行う。

◆(2)中心市街地、ミニ再開発・空き店舗活用等の支援

Nア. 空き店舗調査事業のフォロー

空き店舗調査の結果を受け、空き家も含めその活用を末広開発㈱とともに促進する。

イ. まちなか賑わい創出事業<予算470万円(470万円)>

御旅屋セリオ内において、県産材の遊具を設置した子供広場の運営により、まちなかの回遊性を促進し、賑わい創出につなげる。

◆(3)高岡駅～末広町・御旅屋通り～古城公園を結ぶウォーキングエリアの形成

・高岡駅周辺ウォーキングコースづくり事業<予算100万円(40万円)>

高岡駅を中心として末広町～御旅屋通り～古城公園を結ぶウォーキングコースを選定するため、コース沿いのお店や観光施設などをピックアップし、コースの魅力紹介を行うことで、賑わいづくりにつなげる。

(4)新高岡駅周辺 広域通勤居住圏・広域観光拠点の構築

・高岡市や観光協会との連携によるPR 広報活動の実施

新幹線まちづくり推進市民会議による新高岡駅の利用促進策及び高岡市の通勤通学定期券助成事業等の活用を促進する。

2. リノベーションまちづくりの推進

(1)リノベーション物件の情報収集、起業相談等による支援

・高岡市との連携によるリノベーション物件の発掘と事業者への経営支援体制の強化

中心市街地の魅力向上のため、老朽化した建物や空き家等を積極的に活用しようとする事業者に対し、新たな事業への支援体制を強化する。

推進方法3-4「商工会議所の体制強化」

◎1. 商工会議所及び会員企業におけるパートナーシップ構築宣言及びSDGsの取組み推進

N◆(1)パートナーシップ構築宣言の推進と実行

パートナーシップ構築宣言企業の募集を促進し、中小企業や小規模事業者の取引適正化を図る。

◆(2)高岡商工会議所SDGsの計画的実施

・当所SDGs宣言をもとに事業の推進

◆(3)会員企業向けセミナー等の開催、事業計画策定等のSDGs取組み支援

・企業経営推進事業(SDGs推進)<予算10万円(10万円)>

会員事業所向けにSDGsの取組みを支援し、「たかおかSDGsパートナー制度」の登録を促進する。

①セミナーの開催 ②事業計画策定支援 ③取組事例の紹介

(4)事務局のデジタル化の推進<予算310万円(350万円)>

事務局の業務効率化を図るため、各種データのクラウド化やグループウェアの導入のほか、各種会議のリモート化やタブレット端末によるペーパーレス化を進めていく。

2. 商工会議所事業の強化

(1)青年部、創志会、女性会等との連携強化

・定例会の開催 女性議員の増強

N・伝統産業青年会50周年事業への支援<予算30万円>

(2)会員大会、会員企業PR事業、集合健康診断事業等の会員サービス事業の充実

ア. 雨晴海岸から望む立山連峰カレンダー事業<予算144万円(140万円)>

イ. 会員大会の充実<予算220万円(230万円)>

ウ. 集合健康診断事業<予算40万円(40万円)>

エ. 新春高岡経済懇談会<予算150万円(150万円)>

オ. 会頭杯会員親睦ゴルフ大会

カ. 会員企業 PR コーナー

キ. 労働保険事務組合の運営 他

(3)調査・広報活動

ア. 会報の発行<予算881万円(884万円)>

イ. 経営支援情報メールマガジンの発信<予算5万円(5万円)>※再掲事業

ウ. LINE情報配信サービス<予算20万円(20万円)>

エ. 高岡ケーブルテレビ・ラジオたかおかのニュース番組の放送<予算65万円(65万円)>

オ. LOBO調査・高岡地域経済動向調査<予算34万円(34万円)>

Nカ. プレゼンス強化事業<予算17万円> 他

(4)事務局職員の資質向上(研修・資格取得の奨励)

・職員研修事業<予算70万円(50万円)>

経営指導関連研修の参加をはじめ、中小企業診断士等各種資格取得を奨励し、研修費を助成する。

(5)財政基盤の強化

・会員増強 ・共済制度の加入推進 ・商ビルテナントの確保

◆その他の事業

1 交流連携事業<予算85万円(98万円)>

ア. 長野ほか北陸新幹線沿線商工会議所(福井県含)との交流

イ. 一宮及び犬山商工会議所との交流

ウ. 能登地区、飛騨地区商工会議所、商工会との交流

エ. 県西部商工会議所との交流連携

2 伏木富山港利用促進事業

・伏木富山港のポートセールス(大型客船及び RORO 船の誘致)<予算20万円(20万円)>

3 地域活性化のための支援事業

ア. 富山サンダーバズ冠試合の実施<予算65万円(60万円)>

イ. 「TOYOTA GAZOO Racing」開催への支援<予算10万円(10万円)>

4 高岡法科大学寄付講座「高岡学」の開講(令和4年4月~7月・隔年開催)

寄付講座「高岡学」の成果を活かし、令和5年度は「たかおか検定」(仮称)を検討。※再掲

N5 国際交流事業

・姉妹都市米国フォートウェン市訪問使節団への参加<予算60万円(60万円)>

米国フォートウェン市との姉妹提携45周年を記念して、同市への訪問使節団に参加する。

6 提案要望等意見活動

ア. 高岡市及び高岡市議会への提案要望

イ. 富山県及び富山県議会への提案要望

ウ. 日本商工会議所への提案要望

エ. 国及び関係省庁への提案要望

オ. JR等関係機関への提案要望

7 その他事業活動に必要な事項